
クリスマスプレゼント

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマスプレゼント

【Nコード】

N2189J

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

香穂は悩んでいた。

数か月前にサンタさんをお願いしていた人形セットはキャンセルできるだろうか。

人形セットに代わって欲しいものができたと言ったら、サンタさんはプレゼントをくれないかもしれない。

そんな事を香穂は考えていた。

香穂は悩んでいた。

数ヶ月前にサンタさんをお願いしていた人形セットはキャンセルできなさそうかと。

人形セットに代わって欲しいものができたと言ったら、サンタさんはプレゼントをくれないかもしれない。

そんな事を香穂は考えていた。

けれども香穂にとって、新しいお願いはどうしても聞いて欲しかったので、一人聖夜にベッドでサンタを待っていた。

夜勤で出ている母親の作った料理も残してあるので、サンタさんと一緒に食べながらお願いしてみようと香穂は思っていた。

やがてベッドの中で目がうつらうつらとなる香穂。

シャンシャンシャンと鈴の音が聞こえて、ああ、やっと来たと思った瞬間、香穂の目は閉じた。

そして、翌朝。

香穂の枕もとには白い大きな布の袋があった。

恐る恐る香穂は袋の中を覗いてみると、そこには人形セットは無かった。

代わりのものが入ってあった。

けれども代わりのものは、香穂の想像していたものとは違うもので、香穂はどうしたものかとまた悩んでしまった。

母親が帰るのは昼頃である。

それまで待っているという手もある。

しかし、香穂はその白い袋を持って玄関へと向かった。

一体どこへ向かうのだというのだろうか。

香穂が訪れた先は保育園。

香穂の通っているところである。

年末も忙しい親のためにそこでは二十八日まで開かれていた。

「とうのせんせい！」

香穂は保育園のインターホンを押して、自分の組の先生の名を呼んだ。

程なく東野先生は香穂の元にやってくる。

「あら、香穂ちゃん。どうしたの？お母さんは？」

「せんせい。クリスマスプレゼント」

「あら、先生にくれるの？」

香穂は首を振る。

「うん。これ、かほの。でも、なんかヘンなの」

「そうなんだ。変なんだ。それよりも香穂ちゃんお母さんは？何処にいるの？」

「おかあさん、しごと」

「もしかして香穂ちゃん一人で来たの？」

「うん」

「それじゃあ、とりあえず園の中に入ろっか？」

「うん」

香穂は東野先生に連れられて、保育園の中に入っていく。

それから東野先生は香穂の母親の携帯に電話をかけ、連絡を取る。

いつもはたくさんの子供達がはしゃいでやかましい園の中も今日は静かであった。

「香穂ちゃん。もうすぐお母さん来るからね。お母さんすごく心配してたよ。今度からどこかに出かける時はちゃんとお母さんに言うてから出てこようね」

「うん。ごめんなさい」

うなだれる香穂。

「でも、せんせーにこれ、みてほしくて」

そう言つて、香穂は持つてきた白い袋の中に手を伸ばす。そして、それを取り出す。

「いやああああー！」

悲鳴を上げ、飛びのく東野先生。

それは、

数週間前に海外で行方不明なつた父親。の首だけ。腐食が激しく、腐敗臭が出したとたんに辺りに蔓延する。頭の毛は抜け落ち、所々まばらに生えている。目はもう既に眼球は無く、その奥の肉の色と白い物体がうごめくのが見える。鼻はあるが、あらぬところに穴が開いているので、もし今呼吸をすると空気が漏れ出て、変な音がしそつである。普段は赤い唇が土気色をしている。頬を食い破りウジが一匹、二匹ぽとりと落ちる。丸々と太つたそのウジは立派なハエになりそつである。

「せんせー、みて。これ、かほのおとうさん」
香穂はそれを手にニコリと微笑んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2189j/>

クリスマスプレゼント

2010年10月28日03時12分発行